

【日 時】 令和5年12月26日（火）午前10時00分～午後0時00分

【場 所】 常総市役所石下庁舎会議室

## 次 第

1. 開会
2. あいさつ
3. 議事
  - (1) 会長・副会長の選出について
  - (2) 会議及び資料等の公開について
4. 報告
  - (1) 大花羽小学校と菅原小学校の統合実施について
  - (2) 今後の学校適正配置について
5. その他
6. 閉会

## 出 席 者

- 委 員：中村 博美委員，吉原 晴照委員，馬渡 剛委員，川島 佑介委員，篠崎 孝之委員，橋本 武夫委員，中久喜 幸男委員，瀬高 欣一委員，大石 章雄委員，宇賀地 靖文委員，野尻 滋委員，花島 さと子委員，有馬 晴美委員，福澄 裕子委員，安田 和伸委員，五月女 尚史委員，小林 美穂委員，荒木 久美委員，青木 昇委員，塚原 絹江委員，柴山 優子委員
- 事 務 局：岡野 克巳教育長，西村 聡学校教育課長，高野 慎吾教育政策室長，金子 浩也教育政策係長，木村 実教育政策係主任，藤田 寛史教育政策係主事(記録者)

事務局 本日は大変お忙しい中、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。定刻となりましたので、これより、令和5年度第1回常総市立小中学校適正配置実施計画検討委員会を開会いたします。本検討委員会は、常総市立小中学校適正配置実施計画検討委員会設置条例第6条におきまして、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができないとされており、本日4名の委員の方から事前に欠席される旨のご連絡をいただいております。本日の出席委員は25名中21名であり、過半数を超えております。会議が成立しておりますことをご報告いたします。それでは次第2に移らせていただきます。議事に先立ちまして、教育長よりご挨拶申し上げます。よろしく申し上げます。

教育長 本日は年末のお忙しい中、当委員会にお集まりいただきまして、ありがとうございます。以前から児童数の減少、生徒数の減少、これは常総市に限らず現実的なものとなっているのはご存知かと思えます。特に小学校においては、複式学級が複数クラス発生し、中学校でも通常の活動が、難しくなってきた現状があります。例えば、昨年度の20歳の集いでは該当される方が約680名おりました。20年前に生まれた子がそのような数字になっております。令和4年度に生まれた子は約280名程度です。20年間で400名前後の出生数が減っているということです。その280名が4年後5年後には1年生として入ってきます。それを教育の中でどのように受けとめるかという点について、直近では当然考えなくてはならない状況かと思えます。進めようとしている適正配置が完璧かどうか、いろいろなご意見があるのはそのとおりだと思います。10か0の選択はないと私も認識しております。この適正配置実施計画検討委員会の皆様には、様々な角度からご意見をいただき、将来の子供たちの、生きる力を育てるため、教育に生かしていかなければならないと考えます。適正配置が済んだから終わりではなく、その結果、子供たち、保護者、地域が良かったと思う、まさしくそこが、見なくてはならない部分だと考えます。その辺を肝に銘じて、この当委員会のご意見も受けとめたいと思えますので、よろしく申し上げます。本日はありがとうございます。

事務局 ありがとうございます。続きまして本日の会議ですが、今年度初めての会議となりますので、委員の皆様にご自己紹介をお願いしたいと存じます。名簿順でお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

(委員自己紹介)

事務局 委員の皆様、ありがとうございます。続きまして、事務局を私から紹介させていただきます。

(事務局紹介)

事務局 次に配布資料の確認をさせていただきます。お手元に資料を置かせていただいておりますが、検討委員会の設置条例，委員名簿，本日の次第，資料1，資料2，資料3，資料4，資料5，資料6の1，資料6の2の10点となります。資料の不足等ございませんでしょうか。ないようですので次第3議事に移らせていただきますが，本日の会議は，委員の改選があつてから第1回目の会議となりますので，会長，副会長の選任がなされておられません。本検討委員会設置条例では，第5条において，会長，副会長を委員の互選により選出することとなっておりますので，ここで会長，副会長の選任をいただきたいと思ひます。それではいかがいたしましょうか。

委員 A 事務局案があつたら教えてください。

事務局 ありがとうございます。それでは事務局案をご提案させていただければと存じます。

事務局案としまして，引き続き会長に，茨城大学教授の馬渡剛様，副会長に自治区長連絡協議会会長の篠崎孝之様をご提案させていただきたいと存じます。いかがでしょうか。

委員 (異議なし)

事務局 ありがとうございます。それでは，ご異議ないようですので，会長に馬渡剛様，副会長に篠崎孝之様が互選されました。ありがとうございます。

ここからは，本検討委員会設置条例第6条に基づき，会長に議事進行をお願いいたします。

会長 会議及び資料等の公開についての協議ということになります。事務局より説明をお願いいたします。

事務局 会議及び資料等の公開についてご説明いたします。こちらは事務局からの提案となります。本検討委員会は，教育委員会の附属機関であり，有識者，各分野の代表者の皆様から，市の行政に対するご意見を伺う審議会でございます。市としまして，これらの会議については，行政の透明性，また公平性を高めるため，原則として公開する方針となっております。つきましては，本会議におきましても原則公開とすご提案をさせていただきます。会議資料につきましても原則公開することとし，資料によりましては，審議途中の内容を含む場合もございませんことから，慎重に内容を精査した上で，市ホームページにおいて公開するものといたします。また，会議録につきましては，会議の終了後，会議要旨を作成し，委員の皆様にご確認いただいた上で，同じく市ホームページにおいて，公開することをご提案させていただきます。会議録につきましては，発言者氏名を除いた形式で公開するものとなります。なお会議の公開に関しまして，本日も新聞社様から会議傍聴の申し

出があり、現在室外で待機いただいておりますことから、本日の取り扱いにつきましても併せてご協議くださいますようお願いいたします。参考としまして、昨年度におきましては、傍聴可としており、実際に新聞社等の方に傍聴いただいた実績がございますことを、申し添えさせていただきます。以上、事務局から会議を公開とする提案、及び会議資料会議要旨を公開とする提案、並びに会議傍聴に関する本日の取り扱いについてご協議いただきますようお願いいたします。

会長 ただいま事務局から説明がありました点について質問ご意見等ございますでしょうか。特に本会議の資料につきましても公開ということで、確認でございましたがよろしいでしょうか。

委員 (異議なし)

会長 ではそのようにさせていただきます。会議は公開といたしますのでどうぞよろしくようお願いいたします。それでは次第に従いまして議事を進めさせていただきます。本日は報告が2点ございますので、まずは1点目、大花羽小学校と菅原小学校の統合実施についてご報告をお願いいたします。

事務局 (資料に基づき説明)

会長 ただいまの説明について、ご意見ご質問ございますでしょうか。

委員 B 大花羽小学校と菅原小学校の統合は最初の統合で大変だったと思いますが、今後の手本となりますので、ぜひ統合の内容を公表していただければと思います。資料の中身についてお伺いします。まず、子供を守る110番の家についての協議をどのように進めていき結果どうなったのかをお聞きしたいと思います。続いて、PTA部会に地域振興会の取り扱いとありますが、この協議をどう進めたかお聞きしたいです。三つ目に、学校は地域防災の拠点です。学校にある防災倉庫について、大花羽小にもあったと思いますが、防災倉庫の管理運営を今後どうするのかという点もお聞きしたいと思います。以上3点お願いします。

会長 事務局よろしいですか。お願いします。

事務局 1点目の子供を守る110番の件ですが、この件については、統合準備委員会の中の議題にはあげておりませんでした。どのような調整をとられたのかというのは、事務局の方では承知していないところでございます。

2点目の地域振興会の協議方法につきましては、集金の方法等、非常に細かい部分の差異がありました。地域のPTAの代表の方々が統合準備委員会に入っておりますので、保護者の方が調整をしつつ、地域振興会の方々とお話をしながら、相談

を進めていった形になっています。さらに学校にもアドバイスを頂戴しながら進めたということになります。ただし、教育委員会事務局といたしましては、この地域振興会そのものについて、ご意見を申し上げる立場にないこともございますので、協議の方はお任せしたという形でございます。

3点目の防災倉庫の管理運営についてですが、防災倉庫はおそらくすべての学校にあったと思います。防災の部分については、市の通常時の場合も、防災危機管理課が管轄をしておりますので、防災危機管理課で管理下に置いているという状況と理解しております。

事務局 補足いたしますと子供を守る110番の家に関しては、茨城県警察がメインで教育委員会も関係していることになるかと思います。実際に大花羽地区の子供たちが、菅原小学校に通っていますが、その地区に住んでおり、学校の登下校だけでなく、不審者や危険が及んだ場合にその家に逃げ込むという理解でありますので、こちらに関しては基本的にはそのまま、それぞれの地区で現状も動いている状況かと思えます。

会長 先ほどの質問の中で、統合準備委員会の議論の内容は、公開していないというご指摘をいただいておりますが、これに関してはいかがでしょうか。

事務局 今後準備し公開していきたいと思えます。ただ、昨年度協議している途中段階のものに関しては、やはり絞られた学校同士の統合の内容になるので、広く一般公開することを懸念し、途中段階や日程だけをお伝えさせていただいき、細かいところは公表しておりませんでした。ただし、統合として完了しておりますので、議論の経過および決定したことについては公表できるよう準備したいと思えます。

会長 事務局からの回答でございませうよろしいですか。

委員 B 子供を守る110番の家については、以前にも質問したと思えますが、次の合併に繋がる手本となりますので、ぜひ公表してほしいとお願いした記憶があります。まず110番の家に関して、大花羽小学校だけ統合してなくなったと言っても、中学校にも関係するはずなので、内容的なものは協議しておかないとよろしくないと思えます。五箇地区もこれから統合の立場に関わってきます。そうなりますと大花羽小の統合がすごく手本になります。ぜひ協議内容の経過や結果を提示していただければ、理解が進むと思えます。

防災倉庫の件は防災危機管理課が管理しているということで結構です。

2番目の地域振興会についてですが、地元との関係が非常に大きくあります。地区から会費としていただいております。予算の関係と今後の活動方針は統合したからには合併体制で活動していくと思えますが、協議した内容を報告いただければ、手本になるかと思えます。

会長 今後の適正配置の計画もございますので、今後の議論においてモデルケースになると思います。また、保護者だけでなく児童、生徒も含めて、安心を与えるためにも、議論の内容は、公開するというところに務めて欲しいというご指摘でございますのでどうぞよろしくをお願いします。

事務局 ただいまご指摘あった子供を守る 110 番の家もそうですが、この統合準備委員会の協議内容については、公開をする準備を進めさせていただきたいと思います。参考にはなりますが、現在、鬼怒中学校の統合に向けての検討を学校も含めて進めているところです。その際にも大花羽小学校と菅原小学校の 2 校がどのように統合に向けて進んでいったかというのを、資料を使いながら説明し、参考にしておりますので、その後の統合の参考にもなるように、公表していきたいと考えます。

会長 他にいかがでしょうか。先ほど事務局の方から、統合した菅原小学校の校長先生の意見もいただきたいということでございましたので、もし差し支えなければお話いただければと思いますが、よろしいですか。

委員 C 現在、統合しまして 9 ヶ月がたちました。1 学期 2 学期が終わって、特に大きな問題はありません。それよりも良いことしかないと思います。大花羽から来た子供たちは、たくさんお友達ができ。今までできなかった遊びができているということで、休み時間が本当にみんな元気に過ごしています。外でドッチボールやサッカーをやり、また、勉強でもグループ活動も含め、一生懸命に取り組んでいるので、とても良いところは際立っていると思います。統合はいろいろな問題がありますが、こうして一緒になってみると、良いところがすごく際立っていると思います。ただ、統合前にはたくさんの心配事がありました。本当に細かいところから、大きいところではスクールバスです。こちらは毎日のことなので、保護者の方の関心も大きかったです。取り残されて亡くなったというニュースもあったので保護者の方もピリピリしていました。しかし、常総市は添乗員を置かないという方針があるので、高学年の子供たちが低学年を見ようということで、子供たちにもしっかりと伝えながらやっております。スクールバスについても、ドライバーから問題の報告もありませんし、保護者からも届いておりません。ただ先ほど委員からもありましたが、子供を守る 110 番の家については、これから整備してかなくちゃいけないなと思い、校長として課題が見えてきたところではあります。ただし、いきなり一緒になっても上手くいかないと思います。上手くいった要因の一つは、前年度、いろんなことに取り組んだということがありました。それは教育委員会指導課の方、先生方のお力や学校教育課のお力もありました。バスで大花羽小学校の子供たちを菅原小学校に運んでいただき、一緒に勉強をする機会をたくさん作っていただきました。水泳の授業もずっと一緒にやりました。また、保護者の方もいろんな部会で顔を合わせてきました。やはり、顔を合わせながらお話することで、仲良くなってきたところ

もあります。大変ですが、前年度までの試みや仕組みというのは大事だと考えております。

会長 大変貴重な現場の声、ありがとうございます。他にございますでしょうか。

事務局 一つ訂正をさせていただきます。先ほど委員からご質問いただいた、子供を守る110番の家の件ですが、教育委員会事務局としてどのような関わりをしているかということについて、明確に確認が取れない中、先ほどお答え申し上げましたが、茨城県警察のホームページを見ますと、子供を守る110番の家ネットワークについては、地域の小中学校あるいは、市町村教育委員会などにお問い合わせくださいという案内が載っておりますので、私ども教育委員会事務局でも、こういった形で手続きを進めているかをもう一度確認させていただきたいと思います。大変失礼いたしました。

会長 他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、第1の報告は以上とさせていただきますして、次の報告である今後の学校適正配置について事務局より説明をお願いいたします。

事務局 (資料に基づき説明)

会長 丁寧に説明していただきました。ご意見等ございますでしょうか。

委員 D 12月の一般質問の中でも市小中学校の適正配置計画について具体的に聞きました。その中で民間企業では、事業の中で目標を何年後と決め、計画的に進めていきます。この計画でも、やはりハード面の話もありますが、例えば第二段階で、小学校では五箇小学校と大生小学校の統合があり、それから石下地区3つの小学校の統合について5年以内となっております。しかし令和4年度の経過状況から5年以内という期間を考慮すると、余裕はないです。特に五箇小学校と大生小学校については、新しい校舎を建てなくてもできると聞いております。それでは、何を進めればいいのかということで、菅原小学校と大花羽小学校の事例がありますので、それを基にして何年後に統合するという計画ができると思います。それから石下地区の3つの小学校については、新しい校舎を建設しなければならないということがあります。その場合、最初に何が必要で何年後までに終了ということをおある程度を示さないと、アンケートをとっても何かぼんやりとしています。ですから、きちんと実施計画を具体的に決めるべきだと私は提案しています。その点を含めて、この前の一般質問では、石下小学校は、新校舎の構想はどのように作りたいかということ、最初に準備してもいいのではないかと思いますし、デザイン性もあるので、市の財政を含めた形で話していかなければならないだろうということをお話しました。また、5年後の状況の中で、五箇小学校と大生小学校の状況を確認しました。五箇

小学校の5年後の1年生は5人です。2年生が7人、3年生が5人という状況です。一方、大生小学校は、1年生が10人、2年生は6人、3年生は7人という状況ですので、やはり先ほどの資料4にあります学校の基本的な考え方やアンケートでもありました、「児童生徒が、集団で多様な考え方に触れ、認め合い、協力しあい、切磋琢磨すること」が重要だと思います。そういうことを考えて、統合は考えるべきだと思います。

会長 すでに議会での質疑の中でも、明確な指摘をしているということでございます。おそらくここで事務局が答えることはないと思います。はい。他にいかがでしょうか。

委員 B 反論するわけではないのですが、五箇と大生の統合について、子供たちが少ないのが統合の全くの原因です。それで子供たちを増やさないと、統合の待ったはかけられない、新たな意見も出ないということが本筋です。五箇地区の例を挙げますと、五箇地区にアグリサイエンスバレーと道の駅の雇用が近々2000人創出されると言われています。この2000人の住宅事情を地元で誘致をしてあげて定住者を促進していけば、子供たちが減少している歯止めにはなるかと思えます。そうなりますと、五箇、大生、三妻の3地区で、ここに若手の人たちに住んでいただければ、情勢が変わるかもしれないというのを4年前から言っています。ですからなるべく先が見えるまで1年でも2年でも、把握できるまでの時間を地元はいただきたいと以前より話してきました。市の都市計画課によるマスタープランの関係もありますので市で動いていただかないと先に進まないのですが、ぜひ都市計画を含めて後押ししていただければ地元の状況も読めてくると思います。

それともう一つ聞きたかったのは、前にも質問したことがありますが、アンケートについて対象者の回答数と回答率が50%から60%ということで、非常に低いように見えますが、お子さんが2人、3人いて回答は1回だと思うのですが、子供を仮に2人、3人に加味すると、回答率どのくらい上がるのでしょうか。あまりにも少ない回答数で判断し方向性決めるのもどうかと思います。もう一つお聞きしますが、調査結果のなかにでてくるホットサタデーという事業はどのようなものなのでしょうか。補足説明していただければと思います。

会長 最初のご意見である道の駅とアグリサイエンスバレーの話は前の会議の中でも、積極的にご発言されていたと思います。ちなみに定住人口っていうのは増えてるんですか、それとも減少してるんですか。

委員 B 現在、横ばいだと思います。

会長 横ばいということはそんなに増えることはないということですね。もう一つのホットサタデーについてですが、事務局よろしいでしょうか。

事務局 ホットサタデーというのは、教育委員会が行っている事業で放課後補習教室というものです。宿題などのわからないところを、登録してる人が来て、教えていただいて、問題を解いて解決していくというものです。それが大生小学校にも単独であると良いということかと想定します。

アンケートについてですが、アンケート回答方法は、子供を1人につき1回回答ということで3人お子さんがいる保護者の方は3回回答をお願いしております。ただし、保護者の人数で回答率を出しているかということについてはその回答率を出していません。

会長 事務局からの回答でございます。よろしいでしょうか。

委員 B 以前にも聞きましたが、どうにも理解できないんです。おそらく、認識の違いだと思います。回答率というのは、70%から80%場合によっては90%あれば、地元の説得力があるんです。私どもの自治区長会も関心して見るところです。やり方を工夫して回答率上げる方策があるのではないかと思います。

会長 回答率を上げて欲しいというご要望でございますので、事務局の方でもぜひご検討よろしく願いいたします。他にいかがでしょうか。

委員 E 1点目に資料4の、常総市立小中学校適正配置実施計画の方針の中で、小学校14校中10校が適正規模以下となっておりますが、逆に現在の適正規模校をお示しいただければと思います。同じく資料4の16ページで第一段階に大花羽小学校と菅原小学校が統合しましたが、スムーズな統合を行う上で交流学习は実施しましたか。

会長 適正規模の内訳ということで、適正規模を満たしている4校をお教えてください。

事務局 適正規模4校につきましては、再度確認してすぐお答え申し上げます。

会長 交流学习についてお願いします。

事務局 交流学习については、朝の挨拶運動を両校の子供たちが一緒に行うということを行いました。また、英語の授業をオンラインで実施し交流を図りました。

委員 E 交流学习につきましては主役が子供たちであり、子供たちがスムーズにお友達をつくり、集団行動が取れるように、サポートするのが我々の役目だと思いますので、宝ですので、統合に向けて前段階の取り組みについて前例を参考にお願いしたいと思います。

事務局 適性規模の基準を満たしているのは水海道小学校、絹西小学校、石下小学校、岡田小学校の4校でございます。

委員 F アンケート調査について伺います。これから統合しようとする学校についてのアンケート調査は、詳しく結果がでておりますが、統合したことによって、保護者がどのような考えを持っているかというアンケート調査もあれば、今後の統合する学校の改善点等がわかってくるのではないかと思います。どのように考えていますか。

会長 評価が大切であります。今のところ評価について、アンケートを実施することを考慮しているかどうか伺います。事務局よろしいでしょうか。

事務局 統合を実施した学校について、何らかの形でアンケート調査を実施したいと考えております。年度途中ではございますが、1年間を過ごしてみてどうかというところのポイントで実施するのが良いかと考えております。

会長 他にいかがでしょうか。

事務局 委員さんからいただいた石下地区の実施計画の件について申し上げます。石下地区の玉小、石下小、豊田小の学校の適正配置につきましては、以前の議会の一般質問でご答弁させていただいた形で、もちろん教育委員会としては、拠点校について、新たな最新の設備の校舎を考えていきたいと思っております。校舎一つについて建築費約20億近くの費用が必要になりますので、先ほどご指摘いただいたように、財政当局と議論が必要かと考えております。また、実施計画を明らかにし、庁内で議論していく必要があると思っておりますので実施計画の作成等々については、議会のみならず、さまざまのご指導も賜りながら、進めて参りたいと考えております。

会長 その他ということで、委員の皆様方からございますでしょうか。事務局からその他で何かございますでしょうか。なければ、以降は事務局にお願いいたします。

事務局 委員の皆様慎重なご審議ありがとうございました。今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。なお次回の検討委員会の実施予定ですが、日程等詳細が決まり次第改めて早期にご連絡ご通知差し上げたいと存じます。なお本日お配りしました資料につきましてですが、学校の適正配置、統廃合という性質上、非常にデリケートな内容を収めた資料となっておりますことから、その取り扱いに関しましては、十分にご留意いただきますよう改めてお願い申し上げます。それでは以上をもちまして令和5年度第1回常総市立小中学校適正配置実施計画検討委員会を閉会いたします。本日は会議の進行にご協力いただきありがとうございました。